

令和 2 年度練馬区災害医療運営連絡会 第 2 回専門部会会議概要

- 1 日時 令和 2 年 11 月 11 日（水）午後 7 時 00 分～8 時 15 分
- 2 形式 Web 会議
- 3 出席 野上委員、浅田委員、小田委員、江原委員、杉田委員、光定委員、秋月委員代理
前川委員、金子委員、高橋委員（地域医療課長）、染野委員（防災計画課長）、
宮原委員（石神井保健相談所長）
欠席：丸山委員、秦委員、中島委員（医療環境整備課長）
- 4 公開の可否 公開
- 5 傍聴者 0 名（Web 会議のため受付せず）
- 6 次第
 - 1 開会
 - 2 議事録について
 - (1) 令和 2 年度練馬区災害医療運営連絡会第 1 回専門部会会議要録
 - 3 議題
 - (1) 医療救護所におけるアクションカードの作成について
 - (2) 災害時における情報共有ツールの検討について
 - (3) 災害医療等に関する動画の作成について
 - 4 報告
 - (1) 練馬区地域防災計画の修正について
 - 5 その他
- 7 資料 資料 1 令和 2 年度練馬区災害医療運営連絡会第 1 回専門部会会議要録
資料 2-1 アクションカードの作成について
資料 2-2 アクションカード（案）
資料 3 災害時における情報共有ツールの増設について（案）
資料 4 災害医療等に関する動画の作成について
資料 5-1 練馬区地域防災計画の修正について
資料 5-2 練馬区地域防災計画修正箇所一覧
参考 練馬区地域防災計画（平成 29 年度修正）「医療救護等対策」抜粋
- 8 事務局 練馬区地域医療担当部地域医療課管理係
電話 03-5984-4673（直通）

会議の概要

1 開会

(部会長)

ただいまから令和2年度練馬区災害医療運営連絡会第2回専門部会を開催する。

2 議事録

(1) 令和2年度練馬区災害医療運営連絡会第1回専門部会会議要録

(部会長)

会議要録については事前に送付しているので、説明は割愛する。修正等意見はあるか。

【意見なし】

3 議題

(1) 医療救護所におけるアクションカードの作成について

【資料2-1、2-2について事務局から説明】

(部会長)

前回の会議では、トリアージリーダーのアクションカードを用意していたが、手順を記したトリアージカードに変更し、トリアージ担当にそれぞれ渡せるよう複数枚用意することにした。内容の周知やメンテナンスについては、来年度以降の訓練を通じて行っていきたいと考えている。意見等はあるか。

(委員)

統括医のアクションカードの指揮命令系統図には背景色が付いているが、緑エリアリーダー等にはついていない。その他にも、傷病者振り分けは誰が行うものなのか。またアクションカードがあるにもかかわらず、指揮命令系統図に記載がない。どういう役割があって、その役割の担当は誰で、また何をすればよいか分かる構成にした方がよい。トリアージカードにしても、そもそもトリアージ担当が指揮命令系統図のどこの部分にいるかが分からない。組織図があって、どういう役割の人が医療救護所にいるのかが分かった方が、訓練で使用するにしても使用しやすい。組織図とアクションカードの指揮命令系統図が対応していた方が、整理はつきやすい。

(部会長)

指摘のとおり修正する。また誰がどの役割を担うのかも分かるようにしていこうと思う。その他に意見や修正があれば、11月末までにいただきたい。

(2) 災害時における情報共有ツールの検討について

【資料3について事務局から説明】

(部会長)

情報共有ツールの検討については、昨年度の専門部会でも議題にしたものである。すべての関係団体において、万全な情報連絡体制が整っているわけではないので、ビジネスチャットのようなものを導入できればと考えている。ここでは、LoGochatとLINEWORKSを提示した。導入の可否やツールについてご意見いただきたい。

(委員)

費用については、インストールした本人の負担になるのか。また、インストールしたら費用は発生するのか。

(事務局)

費用は個人負担ではなく、アカウントを一括管理する区の負担とする。また、無料のプランもあり、インストールしたら即課金されるというものではない。

(委員)

無料プランと有料プランの違いは何なのか。

(事務局)

無料プランだと機能に制限がかかっていて、共有ストレージの容量が 5GB までであったり、ビデオ通話ができなかったりという特徴がある。

(委員)

LoGochat は、500 アカウントで 440 円なのか。それとも 1 アカウントごとに 440 円なのか。

(事務局)

1 アカウントで 440 円である。アカウント数が増えれば単価が下がる。

(委員)

LINEWORKS に無料プランがあるということであれば、委員の中で、無料のものをとりあえず使ってみたらよいのではないか。

(部会長)

補足すると、アプリ自体は無料であるが、インストールする際の、通信料などはそれぞれの負担となってしまう。

LINE は、皆さまの中にも使っている人はいるかと思うので、LINEWORKS についても、馴染みがあるだろう。LINEWORKS を導入に向けて検討していくということであれば、他自治体での導入事例もあるので、ヒアリングし、使い勝手などを確認していきたい。

(委員)

資料 3 の 5 依頼事項に、インストールしアカウントを作成していただきたいとあるが、ホストが招待しないと参加できないという認識でよいか。

(事務局)

認識のとおりである。事務局から招待することになる。

(部会長)

LINE の方が抵抗感なく使えると思うので、LINEWORKS のトライアルをさせていただく。災害医療運営連絡会専門部会の連絡についても、LINEWORKS を通じて行い、実際に操作することで、操作性や効果について確認していただきたい。

(3) 災害医療等に関する動画の作成について

【資料 4 について事務局から説明】

(部会長)

まず事務局でたたき台を作成させていただいた。初見で意見を述べるのも難しいと思うので、LINEWORKS に投稿したものをあらためてご覧いただき、11 月末を目途にご意見を頂戴したい。現時点で気づいた点はあるか。

(委員)

限られた医療資源を効率的に活用するためのシステムだというまとめはよい。しかし、一般区民向けに、軽症か、中等症か、重症かを各自で判断させようとするメッセージが見て取れる。それは、患者本人が決めることではないし、自分では分からない。医療救護所や医療機関でトリアージを行い、軽症であれば医療救護所に移すこともあるし、重症であれば病院に搬送することもあるという全体的なコンセプトを動画にした方がよい。区民に、各自で負傷の程度を判断すると思わせるのは危険だと思う。

(部会長)

それでは、医療機関や医療救護所のそれぞれの機能を説明しながら、こういった方法で機能に適った場所に送られるのかという、全体像を理解してもらうように修正する。

(委員)

たたき台のものであれば、軽症であれば病院に行かないようにというメッセージが伝わってくるので、その点は気を付けた方がよい。

(部会長)

初めての試みではあるので、皆さまから忌憚のない意見を頂戴したい。この場で意見がまとまらなければ、後日 LINEWORKS でいただいてもよい。

(委員)

薬剤師会で、住民向けに医療救護所の啓発活動を行っているが、医療救護所というのを知ってもらえていないと感じる。負傷すれば、患者は自然と病院には行くと思うので、まずは医療救護所に行こうと思ってもらえた方が、病院も混乱しないで済むだろう。

(部会長)

事務局としても、それぞれの機能にうまく振り分けられるように作成したのだが、結果的に、区民それぞれに判断を求めすぎる形になってしまった。その点は、改善させていただく。

4 報告

(1) 練馬区地域防災計画の修正について

【資料5-1、5-2、参考について事務局から説明】

(部会長)

練馬区地域防災計画の医療救護活動の項目については、皆さまから頂戴した意見を反映し、また実態に即したものに修正をした。今後も適宜、この場で報告させていただく。

5 練馬区災害医療運営連絡会第3回専門部会日程について

(部会長)

その他委員から報告等はあるか。【特になし】

次回開催日程については、事前の調整の結果、令和3年1月28日(木)19時からに決定する。

以上をもって、令和2年度練馬区災害医療運営連絡会第2回専門部会を終了とする。